

近畿大学泉州高等学校「地歴部」和歌山城周辺探訪



【和歌山城（伏虎城）】昭和10年、国宝指定を受けるが、昭和20年7月9日の和歌山大空襲で焼失。その後、昭和33年に再建された。今年は再建60周年に当たる。

石段を登る「木の根」



【御橋廊下】殿様が大奥へ通うための廊下。一般の人は通行厳禁でした。

【天守閣内の資料展示】



【天守郭】

【くの一参上】

【岡口門】（江戸期の建造物で重要文化財）

大天守、子天守、御台所などを多聞櫓で連結し、楠門を閉じると要塞化する連立天守。

裏門に当たる。



【岡山時鐘堂】

【吉宗生誕地】

正徳2年（1712）吉宗の命により設置。鐘は大坂夏の陣の豊臣方の大筒を粉河の鋳物師に命じて作らせた。大正10年まで時報として鳴らされていた。

第5代紀州藩主、第8代将軍「吉宗」は貞享元年（1684）10月、ここ吹上邸で誕生した。父は2代藩主光貞、母は側室のお由。将軍として「享保の改革」等により、「徳川中興の英主」と言われている。



【報恩寺】 徳川家の菩提寺。中央が初代藩主頼宣の正室瑤林院（加藤清正の娘）の墓。左が2代藩主光貞夫人天真院、右が5代藩主吉宗夫人寛徳院の墓。



【無量光寺】（首大仏）

元「大福寺」に建立された丈六仏。後、火災で大仏は溶けてしまう。2代目大仏建立を目指す、仏体は完成せず、大福寺も地震で壊滅し、「首」は無量光寺に祀られることになった。首から上（勉強）の御利益があると信仰を集めている。

【刺田比古神社】

当神主が吉宗誕生時に拾い親となったことから、吉宗は産土神社として、崇敬した。



【南方熊楠生誕地】 慶応3年（1867）～昭和16年（1941）

世界的にも有名な博物学者、生物学者、民俗学者。熊楠の活躍はあらゆる学問分野に及ぶ。その業績は今もなお「熊楠顕彰館」（田辺市）で研究されている。

【世界一統】

熊楠の父が創業した「清酒醸造所」。入り口には吉宗が開いた藩校「学習館」跡がある。



【寄合橋】

昭和20年の和歌山大空襲で残った橋。焼夷弾の跡が残っている。西詰めには「高札所」があった。

【勝海舟寓居地】

文久3年（1863）4月3日、軍艦奉行として、砲台検分に訪れた。坂本龍馬も同行していた。

近畿大学泉州高等学校「地歴部」2018.10.13